

慶應医学会 ニュースレター

~The Keio Medical Society~

Vol. 32 2024. 10.

今号のニュースレターでは、今年度で第104回を迎える総会・シンポジウムおよび慶應医学会が共催として参加する第134回慶應義塾大学医学部生涯教育研修セミナー（2024年10月開催）をご案内致します。

第104回慶應医学会総会・シンポジウム開催のご案内

2024年11月30日（土）、慶應義塾大学 北里講堂（信濃町キャンパス）にて、第104回慶應医学会総会・シンポジウムを開催致します。本年のシンポジウムは、分子生物学教室の塩見春彦教授、臨床検査医学教室の涌井昌俊准教授にコーディネートをお願いし、『mRNA ワクチン』のテーマのもと、学内外より先生方をお招きしております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第104回慶應医学会シンポジウム開催にあたり

慶應義塾大学医学部 分子生物学教室 教授 塩見春彦
慶應義塾大学医学部 臨床検査医学教室 准教授 涌井昌俊

2019年末に始まった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックは全世界で脅威をふるい、当初は人類の存亡に関わる様相を呈していました。欧米の主要都市の一部はほぼ医療崩壊に至り、重症化や死亡の頻度が比較的少ないとされていた日本でも救急医療体制が逼迫しました。この危機的新興感染症との闘いに大きく貢献したのが mRNA ワクチンです。従来のワクチン開発の常識を超えた異例のスピードで、感染成立に寄与する原因ウイルス SARS-CoV-2 のスパイクタンパク質をコードする mRNA ワクチンが開発され、パンデミック発生から1年程で実用化に至りました。立役者であるカタリン・カリコ博士が2021年に慶應医学賞を、2023年にはノーベル生理学・医学賞を受賞したのは記憶に新しいところです。パンデミックが収束した現在でも重症例の発生や long COVID とも称される COVID-19 後遺症の問題が存続しており、mRNA ワクチンのさらなる進化が求められています。

今回、第104回の慶應医学会シンポジウムでは、mRNA ワクチン研究の現状と展望について、mRNA 創薬とワクチン免疫の2つの視点から議論するべく、それぞれの第一線で活躍されている方々をお招きしてシンポジウムを行うことに致しました。

前半では、慶應義塾大学医学部名誉教授・Elixirgen Therapeutics, Inc. Chief Scientific Officer の洪実先生に「自己複製 mRNA は、次世代のワクチンとなりうるか？」を、慶應義塾大学医学部准教授の涌井昌俊先生に「COVID-19 mRNA ワクチン被接種者における免疫獲得に関する解析」を、京都大学 iPS 細胞研究所 未来生命科学開拓部門教授の濱崎洋子先生に「COVID-19 mRNA ワクチン接種による免疫応答の年齢差・個人差の理解」を、後半では、第一三共株式会社 研究開発本部研究統括部ワクチン研究所所長の武下文彦先生に「新規 LNP-mRNA ワクチンプラットフォーム技術による国産ワクチンイノベーション」を、大阪大学大学院医学系研究科教授の熊ノ郷淳先生に「免疫記憶～自然免疫記憶と神経・免疫・代謝関連の話題を含めて」をご講演いただきます。COVID-19 のみならず、他の感染症やがんをはじめ様々な疾患への応用と実践の期待が寄せられている mRNA ワクチンに関する講演を大変楽しみにしております。mRNA 創薬とワクチン免疫のクロスオーバーによるこの領域の進歩に触れていただく貴重な機会となると考えております。是非多くの方々にご参加いただき、mRNA ワクチンの未来について一緒に考えていただければ幸いです。

《第 104 回 慶應医学会総会・シンポジウム》

- 【日 時】 2024 年 11 月 30 日（土） 13 時 30 分～18 時 00 分
- 【場 所】 慶應義塾大学 北里講堂（信濃町キャンパス）
- 【主 催】 慶應医学会
- 【共 催】 慶應義塾大学医学部
- 【対 象 者】 慶應医学会会員

第 11 回野村達次賞受賞者

受賞者「掛川 渉 慶應義塾大学医学部 生理学教室 准教授」

受賞研究課題「In Vivo Synaptology for Elucidating the Molecular Basis of Learning and Memory
(記憶・学習過程の分子的理解を目指した In vivo シナプス学)」

受賞者「籠谷 勇紀 慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所がん免疫研究部門 教授」

受賞研究課題「Development of chimeric antigen receptor T cell therapy for refractory cancer
(難治がんに対するキメラ抗原受容体 T 細胞療法の開発)」

総 会

13 : 30 開会の辞 金井 隆典 (慶應医学会 会長・慶應義塾大学 医学部長)

13 : 35 総会議事, 野村達次賞授与式

シンポジウム 『 mRNA ワクチン 』

司会 塩見 春彦 (慶應義塾大学医学部 分子生物学教室 教授)

涌井 昌俊 (慶應義塾大学医学部 臨床検査医学教室 准教授)

14 : 30~15 : 10 (講演30分 討議10分)

I. 『 自己複製 mRNA は、次世代のワクチンとなりうるか? 』

洪 実 (慶應義塾大学 名誉教授/

Elixirgen Therapeutics, Inc. Chief Scientific Officer)

15 : 10~15 : 50 (講演30分 討議10分)

II. 『 COVID-19 mRNA ワクチン被接種者における免疫獲得に関する解析 』

涌井 昌俊 (慶應義塾大学医学部 臨床検査医学教室 准教授)

15 : 50~16 : 30 (講演30分 討議10分)

III. 『 COVID-19 mRNA ワクチン接種による免疫応答の年齢差・個人差の理解 』

濱崎 洋子 (京都大学 iPS細胞研究所 未来生命科学開拓部門 教授)

16 : 30~16 : 40 休憩

16 : 40~17 : 20 (講演30分 討議10分)

IV. 『 新規 LNP-mRNA ワクチンプラットフォーム技術による国産ワクチンイノベーション 』

武下 文彦 (第一三共株式会社 研究開発本部研究統括部ワクチン研究所 所長)

17 : 20~18 : 00 (講演30分 討議10分)

V. 『 免疫記憶~自然免疫記憶と神経・免疫・代謝関連の話題を含めて 』

熊ノ郷 淳 (大阪大学大学院医学系研究科 教授)

第 134 回慶應義塾大学医学部生涯教育研修セミナー開催のご案内

- 【日 時】 2024 年 10 月 26 日（土）午後 3：00～6：30
- 【場 所】 ハイブリッド形式（ZOOM 配信/現地：ハイアットリージェンシー東京 「クリスタルルーム」）
詳細は、慶應義塾大学医学部 Web サイトの以下のお知らせをご覧ください。
<https://www.med.keio.ac.jp/news/2024/9/20/5-161736/index.html>
- 【取得単位】 日本医師会生涯教育制度参加証交付 3 単位 カリキュラムコード 0、73、76
- 【講演会】 糖尿病合併症の新しい治療戦略
- 【お問合せ】 慶應義塾大学信濃町キャンパス総務課内 生涯教育研修セミナー事務局
Tel：03-5363-3611 E-mail：med-somu-3@adst.keio.ac.jp

The Keio Journal of Medicine (KJM) 原著論文掲載料補助制度のお知らせ

学位論文または初めての英文原著論文（筆頭著者が慶應医学会会員または慶應医学部 / 医学研究科在学生の場合に限る）が KJM に掲載された場合、掲載料補助を適用します（5 万円まで）。

お問い合わせ先：keio-j-med@imic.or.jp

慶應医学会では、新たにご就任された教授・准教授・講師の先生方にご挨拶や抱負をご寄稿いただき、ホームページ内会員専用ページにて、写真つきで掲載しております。是非一度ご高覧ください。

なお、会員専用ページアクセス用の ID・パスワードが不明の場合、事務局までご連絡下さいますようお願い致します。また、異動や退職などに伴いまして会員情報にご変更がございました場合には、事務局までご連絡いただけますと幸いです。

慶應医学会ホームページ：<https://www.keiomedsoc.org/>

会員専用ページ：<https://www.keiomedsoc.org/member/>



事務局より

第 32 号となる本号は、慶應医学会総会シンポジウムの開催をご案内させていただきました。参加費は無料でございますので、多数ご参加いただき、活気ある会となることを祈念しております。ご来場を心よりお待ちしております。

発行：慶應医学会 〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35

TEL：03-5363-3736

FAX：03-5361-7091

E-mail：keio-igakkai@imic.or.jp